

読んでから選ぼう、生命保険・医療保険。

藤原龍雄 / 著

やっぱりあぶない、 生命保険の選び方

保険会社が損なことをすると思います?

三五館 1050円 2005年 89p A5判
以下、「藤原龍雄の本」と略します。

佐藤立志 / 著

そうだったのか! 「医療保険」の本当のところ

保険会社はここを教えてくれない

光文社 1050円 2005年 215p B6判
以下、「佐藤立志の本」と略します。

高い保険料を払い続けていませんか?

じつは、私がそうでした。その保険料が、さらに高くなるという保険会社からの通知を受けて、遅まきながら、「保険」の勉強を始めたのでした。

結果は、もっと早くに気づけばよかったという反省になるのですが、弁解をすれば、先日まで加入していた保険は15年前に契約したもので、それからの15年の間には、保険をとりまく環境が様変わりしていたのです。言い換えれば、15年前は、保険商品を選ぶ種類も少なく、それを比較検討することが容易でなかった、ともいえます。そして、金融バブルが崩壊し、一部の保険会社が破綻するなど、保険業界もめまぐるしく変わりました。医療の進歩や、病院の経営管理に対する考え方の変化も「医療保険」について検討するときは、大切な要素です。



ご案内する2冊はどちらも、保険の有用性を認める一方で、保険に入らない、という選択肢も含め、保険を選ぶための注意事項をびっしり詰め込んだ本です。



Kaya.

ドイツスズラン
花が葉と
ほぼ同じ高さ
(日本のスズランは
花が葉より低い)

藤原龍雄の本は、多色刷りで視覚的に見やすく、わずか89ページ。ポイントを究極まで絞りきっています。

そのポイント表現は明確です!

**絶対、保険より貯蓄。保険で貯金はあるのほかに
「万が一」は「万が一」しか起こりません**

起こるかどうかわからない不安にお金と時間を使うよりも、もし万が一あなたに死が訪れても、精神的に挫折することなく生活できる知恵を日々子供に授けておくことのほうが、はるかに大切ではないでしょうか。
(28頁)

ですから死亡保険金は極力少なくして、保険会社に支払わなくてよい分の使い道をどう考えるかです。(29頁)

こう助言する著者は、1946年生まれ。29歳から生命保険会社や外資系生命保険会社設立に参画してきたが、その後、保険会社の販売方法や生命保険の在り方そのものに疑問を感じ、独立。10年前に保険代理店を設立して、現在に至る、とあります。

佐藤立志の本は、医療保険の会社や保険商品の実名をあげ、トラブルになった事例から学ぶ、という形式をとっています。

著者は、1952年生まれ。保険評論家。

数々のトラブルを知ると、どの保険会社が信用できるのか? 疑心暗鬼になるほどの内容です。少なくとも、保険会社のパンフレットは、隅から隅まで読むようになるでしょう。

著者は、あとがきで、こんな警句を記しています。

保険会社としては、「もの言わぬ」契約者が一番ありがたいのです。
(214頁)



この二人の著者が、共通に注目したのは、「共済」保険でした。ただし、「共済」と名が付けば何でも信用してよいというのではなく、その見分け方や自分に必要な保険かどうかを自分で見極めることが大切です。

佐藤立志の著書に『JA共済と県民共済の上手な使い方』という本があります。2000年、毎日新聞社刊。1470円。「共済」をよく知らない方は、この本を

参考にするなど、事前に調べておけば役立つと思います。



藤原龍雄の本の書き出しは、

毎日のテレビ番組を見ていて、生命保険会社のコマーシャルが多いなあ、と思いませんか。

から、始まります。

佐藤立志の本の書き出しも、

テレビでは朝から晩まで、これでもか、これでもかとばかりに、医療保険のCMが流れてきます。

ある生命保険会社のテレビ広告費は年間300億円を超えている、とのこと。その費用は、保険商品を購入した人の保険料で負担させられていることは言うまでもありません。(藤原龍雄の本、8頁より要約)

しかし、「共済」保険のコマーシャルは流されません。そのわけは、都道府県の境を超えて宣伝することを禁止されているからです。いきおい、保険は、コマーシャルされているなかから選ぶもの、と誤ってしまいそうです。

保険の比較検討は、これら2つの本でも繰り返し述べられていますが、コマーシャルがもたらす明るいイメージでも、簡単でも、ありません。私も何度も電卓をたたき、計算用紙をたくさん使いましたが、そのうちなにがなんだか混乱してしまいました。

そういうなかで、まず「共済」に決めてみよう、と仮定して、その比較検討をしてみて、ようやく整理がついたのです。



「共済」はいいとしても、その他の保険会社はどのように考えたらいいのでしょうか？

藤原龍雄の本では、バブル崩壊後の生命保険会社の破綻について経過説明があり、

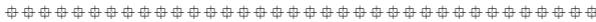
「歴史のある」生命保険会社ほど、膨大な負債を抱え、その借金を返しながら利益をあげていくというサーカスのようなことをしなくてはなりません。(22頁)

その結果、いざ保険金を受け取りたいと請求したとき、審査が厳格になり支払われないケースが生じているのです。先にも書きましたが、こうしたトラブル事例は佐藤立志の本に多く載っています。



藤原龍雄の本と佐藤立志の本をあわせても2100円です。「共済」の1か月分の保険料程度の金額です。"特約"で、『JA共済と県民共済の上手な使い方』を付けて合わせ読むと、3570円です。

今なら、私が経験した15年前と違って、勉強できる環境がそろっています。テレビや新聞の広告に惑わされることなく、自分にあった保険を見つけてください。



安全な **サラリーマン・ライフ** のために

中森勇人 / 著

辞めてはいけない
キーワードで読むリストラ

岩波アクティブ新書 735円 2002年 178p

なぜ、辞めてはいけないか？

再就職できる保障はないからです。

就職できなければ、退職金は遠からず底をつくからです。

それよりも、辞めないで働き続けられる方法を考えよう。

予告なくある日「君にやってもらう仕事はない」。

上司から会議室に来るようにと肩をたたかれた。いつもは普通の話をしている上司の態度がやけによそよそしい。突然上司の口をついて出てきたのがこのセリフ。とまどいを隠せず動揺した私はもう少しで「辞めます」と口にしてしまうところであった。(著者の体験より 11頁)

こんな会社辞めてやる、怒りとともに言いたくなるが、絶対に「辞める」という言葉を会社側に発してはならないと、著者は強く警告しています。それは、「辞める」という言葉を一度でも口にしてしまうと、以後、紛争になっても取り消しがむずかしく不利につながるから。

辞めるんだからいいじゃないか、と思うかもしれませんが。会社側が辞め

ようにしむけても、「辞めろ」とは言っていないわけで、労働者が自ら辞めてしまうと「自己」退職となり、退職金で減額されるなど、不利益になることがある、ということです。

それにしても、老獪ろうかいな上司から、わざとプライドを傷つけられるように迫られながらも、冷静な行動がとれるとすれば、日頃からそういう心の準備が必要のように思います。本書を読むと、私なんぞは、どのページの、どんなケーススタディでも、一発でごまかされるか参ってしまいそうです。



この本は、77のキーワードをあげて、こういう場合、どんなふうに対応したらよいか、事典風にまとめられています。たとえば――。

リストラのために解雇したくなると、上司が吐くセリフには定番があるということです。その有名セリフがキーワードになっています。

君のやってきたことはマイナスばかりだ
管理職として失格だから降格もあり得る
君が何をしようと私は痛くもかゆくもないから
「それは辞めろということですか」の問いかけに
上司は「ただ君の処し方を考えてくれればいいのだ」
「ちゃんと仕事をしろ!」と
あたかもサボっているような発言を大声でする
解雇より自己都合の方が転職しやすいよ



この著者自身がそうであったように、まさか自分が……。自分の会社はまだまだ。リストラはもう済んだ。

ちょっと待つて欲しい、先行き見通しが立たない景気の中で楽観している会社がどこにあるというのだ。(176頁)

会社は人が集まり組織を構成している以上、そこにはよい人ばかりではなく悪意に満ちた人や周囲に流されて悪に手を染める人たちもいる。あなたを陥れようとしているかも知れない。日頃から気を付け、準備を怠らないことでリストラの被害を未然に防ぐ。それは安心して働き社内外でさらなる成果を上げるために他ならない。(177頁)

セラーマンなら身につまされる話がいっぱい詰まっていると思います。読んでみますか？

家庭菜園の本づくりの本

保存版

農山漁村文化協会、略して「農文協」。農林漁業を営む人たちに定評のある出版物が多く、この出版社の本から、専門ではない家庭向きの園芸の本を、ご案内いたします。

- ① **フロの手ほどき 家庭菜園コツのコツ** A5判 159頁 1380円
1991年初版。2005年3月では第45刷。よく売られています。それだけ支持が厚いということでしょうか。イラストたっぷり「家庭菜園の秘訣」が約50ページ。あとは野菜品目別にポイント解説。カラー刷り無し。

- ② **図解 家庭菜園ビックリ教室** A5判 148頁 1530円

1994年初版。2005年6月では第34刷。これもよく売られています。上記①の本は化成肥料を使いますが、こちら②の本は「無農薬有機栽培」に力点があります。20ページ足らずの菜園づくりに続いて、品目別に解説があります。

家庭菜園については、上記2点のうち、どちらを選ぶか？ 無農薬有機栽培という観点からは②に関心が向きますが、①のイラストは大変わかりやすそう。1冊に絞るとすれば、①かな？

- ③ **かんたん！ フランター菜園コツのコツ** A5判 159頁 1600円

2005年12月発行。まだ新刊の部類。地植えと、プランターや鉢とではずいぶん条件が違うので、プランター(鉢)栽培をしたい方は、こちらの本を参照してください。ただし、プランター栽培であっても、野菜づくりは、太陽の日射しがたっぷりいるようです。

- ④ **コンテナ花壇わたし流** A5判 141頁 1680円

1994年発行。1996年で8刷。カラー写真たっぷりで表現される花壇は、やっぱり綺麗ですね。花いっぱいを楽しみたい方は、この本を手引きにして挑戦してみましょ。吊して飾るハンギングも事例たくさん。

- ⑤ **図解 家庭でできるキノコづくり** A5判 156頁 1330円

1986年初版。2004年8月で第36刷。ロングセラーですね。栽培管理のむずかしさがあると思うのですが、試してみたい方には参考になるでしょう。なお、本書では、庭などやや広い場所が必要です。

- ⑥ **自然農薬で防ぐ病気と害虫** A5判 157頁 1380円

1989年初版。2005年2月で第53刷。「自然農薬で防ぐ」



のタイトルにひきつけられるのでしょうか、超ロングセラー。手間暇を惜しまない根気と探求心があれば、よいガイドブックになるでしょう。

⑦ **竹炭・竹酢液のつくり方と使い方** A5判 142頁 1800円

1999年初版。2005年2月で第20刷。竹炭や竹酢液について、マニアックな本です。

⑧ **図解 家庭園芸 用土と肥料の選び方・使い方** A5判 159頁 1530円

1995年初版。2006年2月で第33刷。土づくりや施肥は、畑・庭など大地に対して、コンテナ・鉢などは特殊な空間なので、施行方法が根本的に異なります。本書は3部構成。「畑編」「コンテナ編」「作物別」。イラストは大変わかりやすく初心者から使えそう。「作物編」はよく整理されていて、熟達者にも歓迎されるでしょう。

⑨ **堆肥のつくり方・使い方 原理から実際まで** A5判 152頁 1500円

2003年初版。2006年2月で第11刷。本格派園芸をめざすには必要な知識と技術です。

⑩ **家庭でつくる生ごみ堆肥 よくある失敗 防ぐポイント** A5判 137頁 1400円

1999年初版。2000年5月で第7刷。上記(9)と同じ著者(堆肥の専門家)による本。『図解 ベランダ・庭先でコンパクト堆肥』(1280円)もあります。

病虫害対策や土づくりは、少しでも知識があるのとないのでは、成果や楽しみに大きな違いが出てきます。納得した園芸をしたい方は上記⑥から⑩のうち1冊は習得したいですね。1冊選ぶとしたら、⑧をおすすめします。

⑪ **図解 群境介のミニ盆栽コツのコツ** A5判 168頁 1530円

1993年初版。2002年4月で第23刷。

⑫ **図解 草もの盆栽入門** A5判 129頁 1300円

2005年初版。道ばたや農道の片隅の草花に心を動かされる人向き。

⑬ **苔園芸コツのコツ** A5判 94頁 1600円

2003年初版。2006年2月で第13刷。園芸屋さんで綺麗だなあと目につくコケをいかした装飾品。簡単なモノなら、すぐに始められます。

雨降りも寒暖も気にしなくて、室内で楽しめる趣味をもちたい人は、上記⑪から⑬の盆栽や苔園芸に挑戦してみてはいかがでしょうか。この3点は、初心者からベテランまで参考になると思います。

次の2点は"週末モノ"。郊外に畑やたんぼを借りている人たちに……。

